

■ ■ 音響機材の使用について

■ 当劇場はマンションの地下にある為、音漏れの可能性があるような大音量を必要とする場合はご相談ください。使用時間などを考慮し判断しますが、住民からの苦情が発生した場合、音を制限させていただくことがあります。あらかじめご了承下さい。

■ 使用したものは全て最終日に現状復帰してください。(ミキサーのつまみやスイッチなども現状復帰して下さい)

■ 劇場音響機材の電源の管理は劇場スタッフがしますが、持ち込み機材(特にデッキ以外)に関してはカンパニー側の管理とします。

■ 電源は音響用(独立)20A、平行で卓ブース側に出ています。ステージ側にはありません。劇場音響機材で約800W使用しています。約32Aの音響予備電源があります。

■ ケーブル及び機材・備品には固定データ(回路)につき、使用不可のものがあります。機材・備品リストの備考欄を参照ください。

■ SX300の移動の際(吊り位置を変える、下におろす、元に戻すなど)には劇場スタッフが立ち会います。

■ SX300用システムコントローラーXP200Aは【通常の設定←→低音域を持ち上げる】範囲内での設定の変換が可能です。変換される際は劇場スタッフにご相談ください。
(通常設定レベル9時、スイッチによるオン・オフも可能)

■ 劇場機材のMDデッキでの録音・編集は禁止です。やむを得ない場合は、劇場スタッフまでご相談ください。

■ 音響照明ブース(テーブル)に使用している板は通常の合板材なので、極度の負荷(人が乗る、重たい機材を載せるなど)をかけると破損する可能性があります。ご注意ください。

■ カンパニー側の操作により、劇場の機材にトラブルが生じた場合、弁償していただく場合がございます。また、持ち込み機材の操作はカンパニーが行うものとし、トラブルが生じた場合、当劇場では一切責任を負いません。

■ 持ち込みのMDは標準録音推奨です。LPモード録音などのMDは再生出来ない場合があります。